

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年10月14日

【四半期会計期間】 第11期第2四半期 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)

【会社名】 S F Pホールディングス株式会社

【英訳名】 SFP Holdings Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 佐藤 誠

【本店の所在の場所】 東京都世田谷区玉川二丁目24番7号

【電話番号】 03-5491-5201 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 坂本 聡

【最寄りの連絡場所】 神奈川県川崎市中原区新丸子東三丁目1200番地

【電話番号】 044-750-7154

【事務連絡者氏名】 常務取締役 坂本 聡

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第10期 第2四半期 連結累計期間	第11期 第2四半期 連結累計期間	第10期
会計期間		自 2019年3月1日 至 2019年8月31日	自 2020年3月1日 至 2020年8月31日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高	(千円)	20,080,142	7,834,392	40,216,764
経常利益又は経常損失( )	(千円)	1,682,073	2,782,281	2,914,090
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は親会社 株主に帰属する四半期純損失 ( )	(千円)	954,493	2,294,270	1,461,180
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	958,189	2,290,023	1,459,767
純資産額	(千円)	16,199,972	14,082,270	16,371,702
総資産額	(千円)	22,874,362	28,193,117	22,975,920
1株当たり四半期(当期)純利益 又は1株当たり四半期純損失 ( )	(円)	37.09	89.01	56.74
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	37.03	-	56.67
自己資本比率	(%)	70.8	49.9	71.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	1,333,014	3,706,744	2,867,524
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	1,505,002	288,281	2,233,624
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	1,381,335	9,713,717	1,716,009
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	6,651,108	12,841,013	7,122,322

回次		第10期 第2四半期 連結会計期間	第11期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年6月1日 至 2019年8月31日	自 2020年6月1日 至 2020年8月31日
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失( )	(円)	8.97	32.16

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループにおいて営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

#### (1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い経済活動の停滞や個人消費の急減等からリーマンショックを上回る収縮を見せており、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、緊急事態宣言下における売上の落ち込みから一時持ち直しの動きも見られたものの、業界全体の売上は前年を下回り、特に当社グループが主として展開する居酒屋業態につきましては、休業及び営業時間の短縮、インバウンド売上の消失等の影響により、大きな打撃を受けました。

このような状況の中で当社グループは、新型コロナウイルス感染症の予防対策として「大切なお客様へ10の取り組み」を策定し、従業員のマスク着用やアルコール消毒液による店内消毒、アクリル板を設置しての飛沫感染防止対策など、店舗の衛生管理を徹底して継続するとともに、デリバリーサービスの強化やテイクアウトメニューの拡充を行うなど、早期の業績回復に向け努めてまいりました。

鳥良事業部門においては、「おもてなしとりよし」を「鳥良」からの業態転換により1店舗出店いたしました。一方で、「鳥良」3店舗を退店し、当第2四半期連結会計期間末現在の店舗数は67店舗となりました。その結果、鳥良事業部門における当第2四半期連結累計期間の売上高は1,638百万円（前年同期比69.1%減）となりました。

磯丸事業部門においては、「磯丸水産」を1店舗出店したほか、愛知県にフランチャイズ店を1店舗出店いたしました。一方で、「磯丸水産」2店舗を退店し、当第2四半期連結会計期間末現在の店舗数は直営121店舗、フランチャイズ13店舗となりました。その結果、磯丸事業部門における当第2四半期連結累計期間の売上高は4,603百万円（前年同期比60.1%減）となりました。

その他部門においては、「生そば玉川」及び「とろたく」を各1店舗出店いたしました。一方で、「五の五」1店舗を退店し、当第2四半期連結会計期間末現在の店舗数は31店舗となりました。その結果、その他部門における当第2四半期連結累計期間の売上高は906百万円（前年同期比62.3%減）となりました。

フードアライアンスメンバー（連結子会社）においては、株式会社ジョー・スマイルが「磯丸水産」を1店舗出店したほか、「村一番」、「前川珈琲レストラン」、「平陽珍」を業態転換により各1店舗出店いたしました。一方で、4店舗を退店いたしました。また、株式会社クルークダイニングが「豚のさんぼ」を業態転換により1店舗出店いたしました。その結果、当第2四半期連結会計期間末現在の店舗数は株式会社ジョー・スマイルが17店舗、株式会社クルークダイニングが22店舗（うち、フランチャイズ2店舗）となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は686百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、店舗の減損損失652百万円を計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の経営成績は、総店舗数が直営256店舗、フランチャイズ15店舗となり、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は7,834百万円（前年同期比61.0%減）、営業損失は2,997百万円（前年同期は営業利益1,486百万円）、経常損失は2,782百万円（前年同期は経常利益1,682百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,294百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益954百万円）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5,217百万円増加し、28,193百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5,292百万円増加し、14,019百万円となりました。これは主に、現金及び預金が5,718百万円増加した一方、売掛金が394百万円減少したことによるものです。

### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ74百万円減少し、14,173百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が繰延税金資産の計上を中心に835百万円増加した一方、有形固定資産が728百万円、無形固定資産が181百万円減少したことによるものです。

### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ7,352百万円増加し、12,234百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加した一方、買掛金が458百万円、その他流動負債が1,319百万円減少したことによるものです。

### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ153百万円増加し、1,876百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加した一方、資産除去債務が88百万円、社債が73百万円減少したことによるものです。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,289百万円減少し、14,082百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2,294百万円減少したことによるものです。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ5,718百万円増加し、12,841百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とその主な増減要因は以下のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は、3,706百万円となりました(前年同期は1,333百万円の資金増)。これは主に、減価償却費564百万円があった一方、税金等調整前四半期純損失3,295百万円、法人税等の支払額363百万円があったことによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、288百万円となりました(前年同期は1,505百万円の資金減)。これは主に、新規出店のための有形固定資産の取得による支出329百万円があったことによるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は、9,713百万円となりました(前年同期は1,381百万円の資金減)。これは主に、短期借入れによる収入9,340百万円、長期借入れによる収入480百万円があったことによるものです。

## (4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。なお、当社グループは、今般の新型コロナウイルス感染症による事業への影響に鑑み、グループ経営の安定化を図るべく手元流動性を厚く保持することを目的に短期借入を実施いたしました。その結果、十分な手元資金を確保しており、継続企業の前提に関する不確実性は認められないものと判断しております。

(6) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年10月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	25,776,689	25,776,689	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない、当社における標準となる株式です。なお、単元株式数は100株です。
計	25,776,689	25,776,689		

(注) 提出日現在発行数には、2020年10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年6月1日～ 2020年8月31日	-	25,776,689	-	542,712	-	542,712

(5) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	2020年8月31日現在	
		所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に 対する所有株式 数の割合(%)
株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス	東京都品川区東五反田五丁目10番18号	16,435,500	63.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	258,500	1.00
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	東京都中央区晴海一丁目8番12号	233,500	0.90
三井食品株式会社	東京都中央区八重洲二丁目7番2号	210,000	0.81
麒麟麦酒株式会社	東京都中野区中野四丁目10番2号	210,000	0.81
株式会社ジャックル浦島屋	東京都八王子市元横山町三丁目7番14号	210,000	0.81
株式会社日本カストディ銀行(信託口1)	東京都中央区晴海一丁目8番12号	121,000	0.46
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 1300000(常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	EUROPEAN BANK AND BUSINESS CENTER 6, ROUTE DE TREVES, L-2633 SENNINGERBERG, LUXEMBOURG(東京都港区港南二丁目15番1号)	120,991	0.46
宝酒造株式会社	京都府京都市伏見区竹中町609番地	120,000	0.46
株式会社NSK	東京都北区豊島二丁目3番1号	105,000	0.40
計	-	18,024,491	69.87

(注)上記のほか当社所有の自己株式208株があります。

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 25,773,200	257,732	
単元未満株式	普通株式 3,289		
発行済株式総数	25,776,689		
総株主の議決権		257,732	

## 【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
SFPホールディングス 株式会社	東京都世田谷区玉川 二丁目24番7号	200		200	0.00
計		200		200	0.00

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年6月1日から2020年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	7,148,323	12,867,013
売掛金	672,030	277,645
原材料及び貯蔵品	149,557	113,231
その他	757,380	761,469
<b>流動資産合計</b>	<b>8,727,290</b>	<b>14,019,360</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	11,190,806	10,912,535
減価償却累計額	4,884,428	5,152,516
建物及び構築物(純額)	6,306,377	5,760,019
土地	19,148	19,148
建設仮勘定	96,813	52,055
その他	3,040,399	3,019,283
減価償却累計額	2,242,372	2,358,823
その他(純額)	798,027	660,459
<b>有形固定資産合計</b>	<b>7,220,366</b>	<b>6,491,682</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	2,048,541	1,870,844
その他	35,773	32,277
<b>無形固定資産合計</b>	<b>2,084,314</b>	<b>1,903,122</b>
<b>投資その他の資産</b>		
敷金及び保証金	4,097,123	3,965,789
その他	855,325	1,813,162
貸倒引当金	8,500	-
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>4,943,948</b>	<b>5,778,951</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>14,248,630</b>	<b>14,173,756</b>
<b>資産合計</b>	<b>22,975,920</b>	<b>28,193,117</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	990,822	531,902
短期借入金	10,000	9,350,000
1年内償還予定の社債	6,000	76,000
1年内返済予定の長期借入金	121,839	184,704
未払法人税等	410,059	70,875
賞与引当金	314,301	213,578
株主優待引当金	99,389	114,661
店舗閉鎖損失引当金	25,735	53,530
資産除去債務	23,276	78,255
その他	2,880,036	1,560,730
流動負債合計	4,881,460	12,234,237
固定負債		
社債	73,000	-
長期借入金	250,081	580,979
退職給付に係る負債	245,504	257,956
資産除去債務	794,286	705,715
その他	359,886	331,957
固定負債合計	1,722,757	1,876,608
負債合計	6,604,217	14,110,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,377	542,712
資本剰余金	5,898,431	5,898,766
利益剰余金	9,939,739	7,645,469
自己株式	295	373
株主資本合計	16,380,253	14,086,575
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	8,763	4,382
その他の包括利益累計額合計	8,763	4,382
非支配株主持分	212	77
純資産合計	16,371,702	14,082,270
負債純資産合計	22,975,920	28,193,117

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	20,080,142	7,834,392
売上原価	5,852,400	2,294,853
売上総利益	14,227,742	5,539,539
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 12,740,987	<sup>1</sup> 8,536,791
営業利益又は営業損失( )	1,486,755	2,997,252
営業外収益		
協賛金収入	146,299	146,366
保険解約返戻金	35,183	-
その他	37,488	101,288
営業外収益合計	218,972	247,655
営業外費用		
支払利息	2,024	11,246
不動産賃貸原価	7,750	7,750
その他	13,879	13,687
営業外費用合計	23,654	32,684
経常利益又は経常損失( )	1,682,073	2,782,281
特別利益		
助成金収入	-	<sup>2</sup> 1,519,800
受取補償金	65,543	-
特別利益合計	65,543	1,519,800
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	-	<sup>3</sup> 1,318,979
固定資産除却損	-	6,347
減損損失	236,000	652,855
店舗閉鎖損失	6,383	1,650
店舗閉鎖損失引当金繰入額	27,498	52,951
特別損失合計	269,883	2,032,784
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	1,477,734	3,295,265
法人税、住民税及び事業税	598,439	35,660
法人税等調整額	75,202	1,036,521
法人税等合計	523,237	1,000,860
四半期純利益又は四半期純損失( )	954,497	2,294,405
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失( )	3	135
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )	954,493	2,294,270

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	954,497	2,294,405
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	3,692	4,381
その他の包括利益合計	3,692	4,381
四半期包括利益	958,189	2,298,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	958,185	2,289,888
非支配株主に係る四半期包括利益	3	135

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	1,477,734	3,295,265
減価償却費	608,627	564,554
減損損失	236,000	652,855
のれん償却額	165,576	177,696
貸倒引当金の増減額( は減少)	-	8,500
賞与引当金の増減額( は減少)	7,735	100,723
株主優待引当金の増減額( は減少)	2,903	15,271
店舗閉鎖損失引当金の増減額( は減少)	20,298	27,794
退職給付に係る負債の増減額( は減少)	16,571	18,740
支払利息	2,024	11,246
売上債権の増減額( は増加)	318,796	394,384
たな卸資産の増減額( は増加)	17,459	36,326
仕入債務の増減額( は減少)	200,489	458,919
その他	328,050	1,367,737
小計	2,067,850	3,332,275
利息及び配当金の受取額	620	13
利息の支払額	1,654	11,348
法人税等の支払額	733,801	363,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,333,014	3,706,744
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	119,790	329,908
資産除去債務の履行による支出	19,661	46,624
定期預金の預入による支出	-	12,000
定期預金の払戻による収入	-	12,000
敷金及び保証金の差入による支出	163,215	2,515
敷金及び保証金の回収による収入	24,133	114,083
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	1,137,439	-
その他	89,028	23,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,505,002	288,281
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	-	9,340,000
短期借入金の返済による支出	990,000	-
長期借入れによる収入	25,000	480,000
長期借入金の返済による支出	77,972	86,237
社債の償還による支出	-	3,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	10,050	670
自己株式の取得による支出	145	78
配当金の支払額	334,032	426
その他	14,235	17,211
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,381,335	9,713,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	1,553,323	5,718,690
現金及び現金同等物の期首残高	8,204,432	7,122,322
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,651,108	12,841,013

【注記事項】

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、新型コロナウイルス感染症拡大状況の悪化に伴い、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は緊急事態宣言解除後から2021年2月期末にかけて緩やかに回復していくことへ想定を一部変更しております。なお、当該変更による影響はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
給与及び手当	2,259,784千円	1,931,886千円
雑給	3,180,762千円	1,812,559千円
地代家賃	2,470,900千円	1,868,579千円
賞与引当金繰入額	495,876千円	314,301千円
退職給付費用	25,769千円	30,250千円
株主優待引当金繰入額	65,272千円	67,423千円

- 2 助成金収入の内容は、新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金であります。  
3 新型コロナウイルス感染症による損失の主な内訳は、休業要請に伴い発生した食材廃棄、休業中店舗の地代家賃及び人件費であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
現金及び預金	6,651,108千円	12,867,013千円
預入期間が3か月を超える定期預金	- 千円	26,000千円
現金及び現金同等物	6,651,108千円	12,841,013千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月22日 定時株主総会	普通株式	334,484	13.00	2019年2月28日	2019年5月23日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
 後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月11日 取締役会	普通株式	334,873	13.00	2019年8月31日	2019年11月15日	利益剰余金

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
 後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失( )	37円09銭	89円01銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	954,493	2,294,270
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	954,493	2,294,270
普通株式の期中平均株式数(株)	25,735,283	25,776,155
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	37円03銭	-
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	43,869	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月13日

SFPホールディングス株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	朽木 利宏	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	関 信治	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているSFPホールディングス株式会社の2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2020年6月1日から2020年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、SFPホールディングス株式会社及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。